

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	レジデンシャル守口	階数	地上9F
建設地	大阪府守口市金下町2丁目16番、1	構造	RC造
用途地域	第2種住居 準防火地域	平均居住人員	110 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2014年12月26日
敷地面積	938 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社アベックス 川合 祥
建築面積	457 m <sup>2</sup>	確認日	2015年1月30日
延床面積	2,873 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社アベックス 川合 祥



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 93%  
③上記+②以外の 93%  
④上記+ 93%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.4

**Q1 室内環境** Q1のスコア = 3.6

**Q2 サービス性能** Q2のスコア = 3.6

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア = 2.9

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.1

**LR1 エネルギー** LR1のスコア = 3.0

**LR2 資源・マテリアル** LR2のスコア = 3.5

**LR3 敷地外環境** LR3のスコア = 2.8

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
北側の公園に隣接している為、建物を東西に計画し日光・採光・通風をできる限り取り入れた。北側道路に外灯を取り通行に配慮した。南側に緑地をとり、消防活動空地を設け隣接の防火対策に配慮した。	特になし	
<b>Q1 室内環境</b> 隔壁の厚さ200~300にして室内の水回りの壁はボード2重張りにすると共に断熱・遮音の性能を向上させた。	<b>Q2 サービス性能</b> 居室を南向きにとり生活環境について注意を払った。バリアフリー、内装、天井高2.5mとし建物の性能及び維持管理の機能向上と共に耐震性能について配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 緑地面積113.57m <sup>2</sup> (12.10%)を確保すると共にアルコーブを設け近隣の街並みの形成に努めた。
<b>LR1 エネルギー</b> 日本住宅性能表示等級3を取得し有効な採光、通風、断熱を確保した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 雨水、雑排水は市本管に接続2ヶ所にした。連結については再生骨材を路盤材を利用した。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルはCO <sub>2</sub> の排出は一般的で、日照は廊下、バルコニー等の庇で対策した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	レジデンシャル守口		
	建設地	大阪府守口市金下町2丁目16番17番4		
	用途/区分	集合住宅		
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆		B+
	CO2削減	★★★★☆		3
	省エネ対策	★★★★☆		3
	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★☆		2
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 住戸・宿泊 3.0	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	—	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				